

7-00 DEPT. 7000 東京 有明

理工博士大谷博士が口法粉砕法を創案

「口法粉砕」に実

「進め」

(7.10) 東京都立共立工業専門学校

大谷博士の報告「口法粉砕法」

大谷博士

「口法粉砕」は、従来の「石臼粉砕」に比べて、粉砕の効率が高く、粉砕後の粒子の大きさの分布が狭い。これは、粉砕の原理が異なるためである。

従来の粉砕法は、石臼を用いて行われるが、これは、粉砕の効率が悪く、粉砕後の粒子の大きさの分布が広い。一方、「口法粉砕」は、口法を用いて行われるため、粉砕の効率が非常に高く、粉砕後の粒子の大きさの分布が非常に狭い。

「口法粉砕」の原理は、口法を用いて行われる。これは、粉砕の原理が異なるため、粉砕の効率が高く、粉砕後の粒子の大きさの分布が狭い。これは、粉砕の原理が異なるためである。

「口法粉砕」の原理は、口法を用いて行われる。これは、粉砕の原理が異なるため、粉砕の効率が高く、粉砕後の粒子の大きさの分布が狭い。これは、粉砕の原理が異なるためである。